

第 89 回大阪地方メーデー宣言

私たちは本日、連合大阪に集う、すべての仲間が結集し、第 89 回大阪地方メーデーを開催した。

東日本大震災の発生から 7 年、熊本県を中心とした九州地震から 2 年が経過した。被災地では、今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられており、子どもたちの心のケア、高齢者の孤立死など、様々な課題が山積している。連合大阪は、被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みとあわせて、被災地の復興・創生に向け、震災を風化させないよう発信力を強化しつつ、幅広い運動を展開していく。

世界各地で、安全保障上の緊張感が高まっている。核兵器の廃絶と世界の恒久平和に向けた運動を強化するとともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成のために、政府や経営者団体との取り組みとあわせて、国際労働組合総連合（ITUC）やNPO/NGOなどと連携し、すべての人が平和と人権を守り、豊かさを享受できる世界をめざしていく。

国内に目を向けると、超少子高齢化・人口減少と相まって、経済、社会保障、財政の持続可能性への不安感が高まり、格差問題も深刻化している。大阪でも、働く者を取り巻く環境は依然として厳しく、子どもの貧困問題など解決すべき課題は多い。春季生活闘争における「底上げ・底支え」、「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざしていく。真に働く者の立場に立った「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けることができる社会を今こそ創ろう。

しかし、わが国の政治は今まさに危機的状況にある。戦後世界を支えてきた自由や民主主義という規範が揺らぐ中、その根幹に関わる出来事が続いている。私たちは、健全な民主主義を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、先頭に立って努力する。

メーデーは、米国の労働者が 1 日 8 時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源とし、世界の働く仲間がこの日に集い働く者の権利を求め、団結と連帯を誓いあった。私たちはメーデーの起源を心に刻み、すべての仲間と連帯することの大切さを見つめなおし、「ディーセント・ワーク」と「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2018 年 5 月 1 日
第 89 回大阪地方メーデー